

2026年スタートアップ 市場予測

AIインフラ・評価経済の台頭
とM&Aの加速

if(塾) Blog | 2026年01月07日



2026年の主要トレンド 概要

市場環境は回復基調へ

- AIインフラへの巨額投資は継続（DayOne 等）
- AIモデル評価（Evaluation）が新たな重要な分野へ
- M&AとIPOによる流動性（Liquidity）の回復
- Deep Techと実業の融合が進む





AI分野の進化：インフラと評価

開発から信頼性のフェーズへ

- 計算資源確保が競争力の源泉（DayOne 20億ドル調達）
- LLMの性能評価「Evaluation」系企業が台頭
- LM Arena等が大型調達、AIの信頼性が鍵に
- 「作る」AIから「測る」AIへのシフト

出口戦略：M&AとIPOの展望

流動性の確保がカギ

- 2026年はM&AとIPOが活発化する見込み
- PEファンドの待機資金（Dry Powder）が市場へ流入
- 単独IPOだけでなく、戦略的M&Aも有力な選択肢
- 既存産業とAI企業の統合が加速





スタートアップへの戦 略提言

変化に適応するためのアクション

- Web時代のKPIからAI時代の評価軸へシフトせよ
- 技術的負債を減らし、知財（Chain of Title）管理を徹底
- 早期からM&Aを含む複数のExitシナリオを準備
- 実社会での課題解決（Deep Tech）に注力

まとめ：2026年を勝ち抜くために

飛躍と統合の年

- AIは「実装・評価」の実利フェーズへ移行
- 資金調達環境は改善、好機を逃さない準備を
- 変化の波に乗り、柔軟な出口戦略を持つことが重要
- 次世代の勝者は今年のアクションで決まる

